

## アイヌ民族の日常 道具や写真で 札幌 浦河の浦川さんら企画展



日高管内浦河町の浦川太八さんが作ったマ  
キリ（手前左）などを展示している企画展  
「アイヌの伝承者 浦川太八、80歳」

アイヌ文化を伝える企画  
展「アイヌの伝承者 浦川  
太八、80歳」が3日、札幌  
市北区のギャラリーエッセ

（北9西3）で始まった。  
日高管内浦河町の浦川太八  
さん（79）とイタリア在住の  
写真家西川よしえさん（62）

札幌市出身の2人が、  
工芸品や写真を通してアイ  
ヌ民族の生活ぶりを発信し  
ている。

浦川さんは猟師、木彫家  
として活躍。企画展は、9  
月で80歳を迎える浦川さん  
の活動を記録する「浦川太  
八の伝承を考える会」が主  
催した。会場では、浦川さ  
んが自作し日常的に使って  
いるマキリ（小刀）などの  
道具33点や、西川さんが浦  
川さんを撮影した写真9点  
を展示。浦川さんが山に入  
る様子や工房で作業する日  
常の姿を伝える。

西川さんは「自然体で生  
きている太八さんの『今』  
の暮らしを感じてほしい」  
と呼び掛けている。

8日まで。午後1～7時  
（最終日は午後5時まで）。  
無料。問い合わせは同会 ☎  
011・615・6866  
へ。（山中龍之助）